

本年度のみつばち腐蛆病検査について ～御協力ありがとうございました～

本年度計画していましたみつばち腐蛆病検査は、9月をもって全て終了しました。飼養者の皆様には、検査時の立会い等のご協力ありがとうございました。本年度の当所管内の検査結果については下表のとおりでした。

来年に向け、腐蛆病が発生しないように衛生管理を心がけましょう。

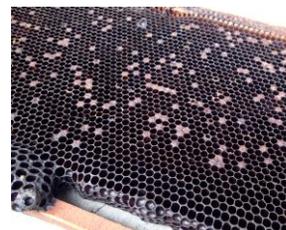
実施蜂場数	実施群数	健康群数	腐蛆病発生群数
64蜂場	1,550群	1,548群	1蜂場 2群

腐蛆病とは

蜜蜂の幼虫(蛆)が腐る病気で、次の2種類があります。

★アメリカ腐蛆病

- ・感染後死亡した幼虫はすぐに巢外に出され、巢房が空になる。
- ・これを耐過した幼虫は、巢房に蓋をし(有蓋巢房)、さなぎになる間に死亡し、腐蛆になる。
- ・腐蛆は独特の臭いがあり、幼虫が溶けて液状(褐色、粘着性)を呈する。



アメリカ腐蛆病の巣脾



アメリカ腐蛆病：糸を引く蜂児

★ヨーロッパ腐蛆病

- ・幼虫は巢房に蓋をする前に死亡して、無蓋巢房内に死亡幼虫がみられる。
- ・腐蛆の溶解・粘着性なし。
- ・特徴的な発酵臭と酸臭がある。



ヨーロッパ腐蛆病

予防法

- ・常に蜂群を強勢に保つ。
- ・こまめに蜜蜂の様子をチェックし、病気の早期発見に努める。
- ・必要に応じ、アメリカ腐蛆病の予防薬(「タイラン水溶散」)を使用する(用法・用量・休薬期間厳守)。

腐蛆病に関するご相談は↓

連絡先：飯田家畜保健衛生所 防疫課
Tel 0265-53-0439 Fax 0265-53-0441